

■市河寛斎 漢学者、漢詩人。昌平黌の學員長になるも、寛政の改革で辞任、{江湖詩社}を興して漢詩に新風。

いちかわかんさい

・・・・・・1749= 父蘭台(細井広沢門)は、川越藩に仕え書に巧みであった。その次男として江戸屋敷で生まれた。

徳川吉宗没・1751= 2歳 :

初め父から教わり、

宝暦事件・・1758= 9歳 :

大岡忠光没・1760=11歳 :

・・・・・・1763=14歳 : 父を亡くし、その後を継いで川越藩に仕えていたが、

学問を求める気持が強く、ついで関松窓や大内熊耳について学んでいたらしい。

意次側用人・1767=18歳 :

田沼意次老中1772=23歳 :

黄表紙始・・1775=26歳 : 脱落し、

雨月物語刊・1776=27歳 : 江戸に出て、関松窓の所に落ち着き、林大学頭の門をくぐる。

ツツ船蝦夷来 1778=29歳 : 日本橋桶町に住まい、

そこで教え、細井平洲・井上金峨・沢田東江・入江北海らの学者と交流。

蘭学階梯・・1783=34歳 : 昌平黌の學員長となり、聖堂内に移居するも、

蝦夷初調査・1785=36歳 :

田沼意次失脚1786=37歳 :

寛政改革始・1787=38歳 : *松平定信による改革が始まり、田沼意次に親近したとの疑いで、関松窓が林家の八代洲河岸塾の学頭を罷めさせられたのに伴い、學員長を辞す。江湖詩社を作り、新しい漢詩を作る活動を始める。

混浴禁止・・1791=42歳 : *富山侯(前田氏十萬石)に、定府儒者として藩校教授に招かれ、

数回、藩主と共に富山に行き、そこでの生活をも経験して、

松平定信引退1793=44歳 :

オランダ正月・1794=45歳 :

アメリカ船来航始1803=54歳 :

ゴロブシ拿捕 1811=62歳 : *致仕、

高田屋拿捕・1812=63歳 :

浮世床・・1813=64歳

お玉ヶ池に居を構え、長崎に遊び、張秋琴らの中国人と交わり、唱酬を行なう。

学問でも精敏であったが、詩に長じ江湖詩社に集まる人々を率いて、詩界に新風を吹きこんだ。墓誌銘を書いた林述斎は「清麗奇峭、有ラザル所ナシ。其ノ初メハ肇河タリ、一変シテ香山、再変シテ劍南、終ニマタ諸家ヲ陶鑄シテ別ニ仔軸ヲ出ダス」と書いている。

・・・・・・1815=66歳 : 和泉橋藤堂侯前に転居。

水野忠成老中1818=69歳 :

群書類従刊・1819=70歳 : 七十の賀宴を開いたが、

・・・・・・1820=71歳 :

没した。

「全唐詩逸」「談唐詩選」「日本詩紀」「寛斎遺稿」「寛斎余稿」など。市河米庵は長男。